三十日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷 福島縣石城郡平町紺屋町十五 印刷所 加納活版所
發行所 福島縣石城郡平町紺屋町十五 磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金卅錢
廣告料一行十五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

部下を想ふ
大西少將來平
平町官民の見舞ひに感謝

（別項）島田大尉、三浦特務中尉の兩遭難將校その後の經過を案じて横須賀海軍航空隊司令大西少將は昨二十九日來平直ちに南町の上田病院に兩遭難將校を見舞つたが、大西司令の部下を想ふ懇篤な見舞に兩將校も涙を浮べて感激してゐた。尚大西少將は午後四時町役場に青沼町長を訪ねたが既に退廳後であつた爲自動車で城山の町長宅に向ひ福島から歸平早々旅裝の青沼町長と會見遭難以來平町官民の篤い見舞ひを感謝し同日福島に向つた。

▲青沼町長歸廳　知事

召集の町村長會に出席中の青沼平町長は昨二九日午後三時五十三分平着列車で歸廳した。

▲木村大浦村長　大浦

村長木村前代議士は町村長會出席中であつたが二十九日午後三時五十三分平着列車で到着即日歸村した。

▲井上縣議再出京

所要で出京中の縣議井上茂作氏は昨二十九日午後三時平着列車で歸宅したが、今三十日午前五時發列車で再出京。

遭難の三浦中尉
今日原隊へ復歸
横須賀海軍病院入院か

江名永崎海岸で墜落遭難した島田大尉、三浦特務中尉はその後平町南町上田病院で引續き加療中であるが經過頗る順調で三浦特務中尉の如き昨二十九日早朝から頗る元氣で歩行出來得る程度に恢復し同日午後三時頃は看護婦付添ひで同病院内の庭園を散歩するまでに至つたので今三十日家族付添ひの下に平發午前十時四十一分上り列車で横須賀海軍病院に入院の豫定である。尚同中尉は直に横須賀海軍病院に入院の豫定である

官金横領
公判開廷
今日關口判事係

官金三千五百余圓を横領費消して自首した元四倉築港事務所勤務縣書記金澤清四郎（三三）に係る公私文書僞造行使詐欺事件の第一回公判は今三十日午前十時から平區公判庭に於いて關口判事係り清田檢事立會の下に大嶺湊兩辯護士附帶私訴提起による國分縣屬列席して開廷型の如き住所氏名訊問後事實審理に入り正午一先休憩、午後再開して檢事の論告求刑ある筈だが本稿〆切までには結審に至らない。

底曳密漁船に
漁業停止を命ず
農林大臣から去二十一日付で
江名第三權現丸に

本縣では農林大臣の命令にもとづき江名町大字中の作字植作漁家機船底曳網漁船第三權現丸、所有者吉田安吉氏に對し五十日間の同漁業停止と同船の江名濱港碇泊方の命令を發しその旨濱通り各警察署へ通牒嚴重監督することに決した、右は同船が昭和八年十一月中茨城縣久慈郡久慈濱沖合禁漁區域内において機船底曳網繰業中を茨城縣取締船常磐丸に捕へられたにより此の處分を受ることになつたもので本月二十一日附後藤農林大臣からの命令は

機船底曳網漁業取締規則第十四條第二項及び第十五條の二の規定により本命令書受領の日の翌日から起算し五十日間吉田安吉所有第三權現丸による機船底曳網漁業を停止し同期間中江名港へ當該漁船の碇泊を命ず

但し本命令書受領の際出漁中の場合は歸港したる日の翌日よりこれを起算する

といふにあり、規則違反の廉により斯く漁業家が停止命令をうけたのは本縣最初のものである

▲郡農會斡旋　石城郡農會では三十一日午後一時から平町團体事務所樓上に郡内町村産業主任並に農業技術員會議を召集して小麥、菜種の販賣斡旋を協議する。

鮮人酌婦
情夫と逃走

宮城縣築館町字小山二七朝鮮料理店季殷彬方抱酌婦ユキ子事朝鮮慶尙北道永川郡生れ季日仙（二四）は去二十六日情夫の鮮人加藤要吉（二四）と共某して前借二百余圓を踏み倒して逃走行方を晦ましたが警城炭礦地帶に潛伏の形跡があるから捜査して欲しいと主人季から平署に願出た

豐間の若い駈落者
熱海で情死を企つ
投身せんとしたのを
熱海署員が發見保護

豐間村字八幡酒井宇左衛門方居住本間久作（二二）は同村鈴木清造二女あき（二〇）と戀に陷り情交を續けてゐたが親が許す晴れて夫婦になれないのを悲觀して去る二十二日夜兩名手に手を取つて駈落ち行方を晦ましたので家人は八方手分けして行方捜査中であつたが昨二十九日午後十一時頃熱海町錦浦の斷崖から投身心中を企てたのを熱海署員が發見同署で目下保護を加へてゐる旨豐間の親元へ通知あつた。

桃の井で
無錢飲食

茨城縣久慈郡磯濱町生れ當時住所不定無職鈴木橘次郎（三四）は昨二十九日午後十時頃平町田町カフエー桃の井で酒二本と水菓子を平らげ代金一圓五十錢を踏み倒し逃走せんとしたのを平署高松巡査が取り押さへ本署に拘留したが他にも余罪ある見込で引續き取調中。

俄然沸き立つ野球熱
石坂剛球投手を迎へて
地方球界に君臨する入山
都市對抗戰に出陣

數年來炭界不況で何時の間にか當地方から影をひそめてゐた實業野球チームが昨今炭界の軍需インフレ景氣に煽られてボツ〳〵姿を見せ始めた、殊に磐城入山、古河三大礦の如き黄金時代を築き上げた幾多名選手連を全部手離して僅にチームとは名のみ從業者中の愛好者だけを寄せ集めて辛じてチームを維持して來たが……

× × ×

昨夏以來の爆發景氣と小早慶戰とも稱ふべき磐中―平商の實力向上と火華を散らす對立による地方野球熱に煽られて炭界に於ける野球熱が次第に上昇……前記三大炭礦は勿論群小炭礦まで野球部の再建やら創設に乘り出すもの續出。

× × ×

中でも昔年磐炭と共に地方實業野球界を片耳つてゐた湯本入山チームの如き不況のどん底に陷つた一昨年あたり殆んど舊選手全部を手離してゐただけに再建全く絶望ときへ見られてゐたが昨年春に至つて學生野球界の名捕手として鳴らした金士君を始め磐中出の遊撃手朝妻以下人知れず選手の狩り集めを開始し今春四月卒業した磐中黄金時代の最強打者として全縣下中等學校大會に決勝戰に出場して猛打振りを發揮した石坂中堅手、同く荻野二壘手をチームに加へるに至つて俄然その強みを倍加今や地方實業野球界の王座を占めんとするの躍進振りだ。

× × ×

入山チーム所屬になつた石坂君は同チームの正投手として過般の湯本町營グランド開き大會に出陣地方一流の日立軍と對戰した際の如き磐中時代から恐れられてゐた剛球に一層の威力を加へたアウトコーナーを覘ふ剛球を以つて日立軍の強打者連を斷然押さへて見事八對一で快勝…石坂、金士のバッテリーは今や地方球界へ君臨するに至つたのだ……。

× × ×

此の快勝振りに氣をよくした同チームは盛夏全國の人氣を沸騰せしめる都市對抗戰に出陣のほぞを固め目下必死の猛練習中だが石坂、金士のトリオによれば縣下豫選ばかりか東北豫選の通過もさして難事とは思はれない

五十圓落失

勿來町大字窪田古川清は去二十八日午後十時頃茨城縣多賀郡松岡町千代田から同郡松原町高萩に至る途中現金五十二圓五十錢也中の巻口一ヶを落失し蒼くなつて松原署へ届出た。

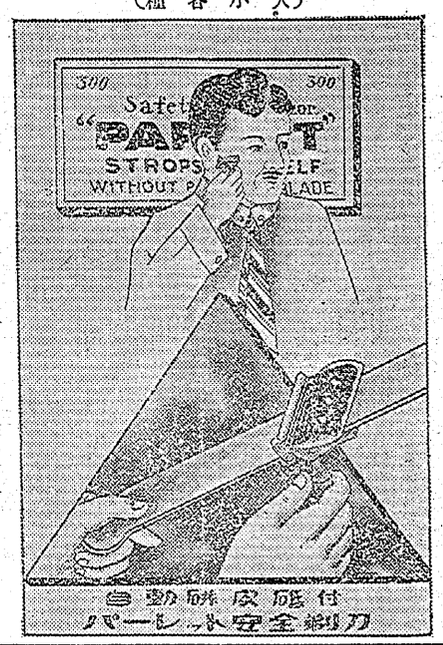
パラソル
最優秀逸品の洋傘と日傘。最も豊富
一文字麥帽
すばらしい初夏の感觸・特選品
◎初夏の服裝品は◎
正 中野洋品店
平二・電53

化粧品、理髮器具一式

クリーム、ポマード……ハカリ賣り

安全剃刀（自動研皮砥付）

白衣と鏡（大小各種）



芳香園理髮器具店

平驛前（電話六八〇番）

新發明 透明障子紙

福島、茨城、栃木、宮城、四縣下一手販賣

平町四丁目 伊勢屋

發賣元 阿部商店

電話四五番

難波醫院

內科
小兒科

入院應需
自炊の便あり

平町大町
電話五〇二番

醫學博士 難波睦

吉田眼科病院

平町紺屋町（電話六八番）

耳鼻咽喉科專問

入院隨意
病室完備

平町田町七十番地

山內醫院

醫學士 山內亨吉

電話六九一番

和洋銅鐵金物問屋

金屋商店

諸橋久太郎

電話九九九番

君はいゝ型の洋服を求められたね。誂だね？いや君コレは四丁目マルトモビル停車場通で販賣中のソレ正札堂さ

四丁目マルトモビル

正札堂

派出看護婦

……懇切叮嚀を旨としてゐます

……御一報次第迅速にお伺ひさせます

平町字一丁目

磐城看護婦會

電話三五七番

質物一般

營業時間 午後九時迄

三井質店

平町四丁目川岸通り

電話六〇六番

建築材料の御用命は「今一番勉強の當店へ」

かや優良材、碁、將棋盤（新品格安急讓り度し）

銘木 建具材 建築材料 一式

金織田材木商店

平町紺屋町

電話四六〇番

御存じですか

松竹を!!

安い!! 早い!! おいしい!!

三ピヤウシ揃つた

松竹食堂

平驛前 電話三〇三番

耳鼻咽喉科專門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

（入院のお需めに應ず 自炊の便あり）

平町田町【電話五八番】藤田女學校前

夏の通學服

小學用霜降小倉服……40ヨリ
〃 上口……85ヨリ
〃 特製……1.20ヨリ
中學用 〃……2.05ヨリ
第二・第三校制服……90ヨリ
各種取揃ひますた

ふかや洋服店 平三 電203

女給さん募集

十七才より二十五才迄
衣服給與相當優遇す

平町南町 丸昇軒食堂

▽迅速と廉價

加納活版所

電話四〇九番

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル

特色 このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて參りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えました

春の流行ハンドバツク

ツルヤ

平四 電話一四〇番